

東京学芸大学 ヒューマンライブラリー

2022



東京学芸大学 playground ラボ

ヒューマンライブラリーは、在日外国人、障がい者、セクシュアルマイノリティなど、生きている「本」と「読者」との対話を通して、多様な生き方を認め合う、多様性に開かれた社会の実現を目指すイベントです。本年は3年ぶりの対面開催になります。生きた「本」のタイトル、あらすじは、本ちらし2, 3ページにあります。5冊まで本を借りられ、30分ずつお話しできます。下記予約フォームで希望する「本」を予約してください。

日時：12月11日（日）12:30～17:30

場所：東京学芸大学 N棟（中央4号館）3階教室

主催：東京学芸大学ヒューマンライブラリー2022 実行委員会（代表：岡 智之）

共催：playground 多様性ラボ GAIA

後援：小金井市教育委員会、小金井市社会福祉協議会

協賛：東京学芸大学教職員組合

問合せ先：東京学芸大学留学生センター 岡 智之

okatom@u-gakugei.ac.jp

予約フォーム：<https://forms.office.com/r/vKAdSPc0wR>

申し込み締切：12/7（水）まで。定員が埋まり次第締め切ります。先着順で一回のセッションの「本」一冊につき、5人まで一緒に参加できます。



東京学芸大学ヒューマンライブラリー2022「本」のタイトル、あらすじ一覧

*下記の「本」を5冊まで借りられ、30分ずつ対話できます。

作者名	カテゴリー	タイトル	あらすじ
関根摩耶 (NEW)	先住民族 アイヌ	二風谷の育ちと 「アイヌ」につ いて	北海道の平取町二風谷、人口の多くがアイヌにもルーツを持つ地域で生まれ育った私の生い立ちや考えをお話します。(オンライン。1、2回目限定)
ソンサン ギ (NEW)	在日朝鮮 人	自身の民族性を 忌避していた或 る朝鮮人の変 化	昔、朝鮮学校に通っていました。この社会において、こと朝鮮学校に関しては子どもに対しても容赦なく差別と暴力はふりかかります。小さいころからそういう経験をするとその内、「自分で自分を差別」しだす子がでてきます。私もそうでした。そんな私が、自分自身の民族性と改めて向き合うことになった経緯をつづった物語です。(オンライン。1、2回目限定)
朴梨香 (NEW)	在日朝鮮 人	在日朝鮮人とし ての自分	在日朝鮮人の両親の間に生まれ、小学校から高校までの12年間朝鮮学校に通ってきた。大学は日本の大学に進学をし、そこで留学同という団体に出会い今がある。朝鮮学校に通っていたときの自分と留学同で活動しているいまの自分を比較しながら自分の人生に関して伝えられればと思っている。
長江春子 (NEW)	中国残留 日本人孤 児2世	日本と中国の狭 間に生きて ～今の苦労は将 来の強みにな る!～	中国残留日本人孤児の母を持つ宿命を生きてきました。特に中学から大学の10年間、中国と日本の二つの文化、二つの言語、無理解、貧困に苦しんできました。心の傷は今でも時々疼きますが、そうした経験から得たものも多く、今の仕事につながっています。多くの方に助けられて何とか生き延び、今は自分の宿命に使命を見出すようになり、自己開示を始めています。
Agalyn Nagase (NEW)	移民女性	移民女性と日本 社会—DV被害 者やシングルマ ザーの支援経験 から—	KAFINはDV被害者やシングルマザーの移民女性に対する様々な支援を提供する組織です。フィリピン出身のAgalyn NagaseさんはKAFINの活動を通じ、これまで多数の移民女性を支援してきました。日本に暮らす移民女性が置かれた状況や支援実態についてお話します。(使用言語は英語ですが、適宜通訳がつかます。)
長谷川留 理華	ロヒンギャ 系日本人	迫害にもいじめ にも負けないか ら今ママになれ た	私はミャンマーのアラカン州(ラカイン州)で生まれたロヒンギャ民族で、3歳までアラカン州に暮らしていました。父はアラカン州の公立学校で高校教師を務めていました。1988年、ミャンマー全国で暴動が起き、たくさんのロヒンギャ民族が拘束されたり、殺害されたりしました。その後、私が暮らす村にも、軍が父を探しに来ました。ロヒンギャの教師はほとんど拘束されました。父は国内で身を隠すのは限界があると考え、日本へ行きました。その後の人生について。
中嶋秀昭	難民(世界 の医療団)	ロヒンギャ難民 の状況と彼らへ の支援	ミャンマー北西部に住んでいる主にイスラム教徒のロヒンギャの人々は長年、政府から迫害を受け、隣国バングラデシュ等に逃れてきましたが、特に5年前の2017年8月25日に始まった軍による攻撃・殺害により70万人以上がバングラデシュに避難しました。現在、面積が約12km ² (東京都千代田区ほど)の難民キャンプに90万人以上が住んでいます。最近の難民の状況やミャンマー情勢との関連、私達の彼らへの支援等につきお話します。(オンライン)

りゅーや (NEW)	LGBT	彼のお父さんの キーパーソンは 僕!? 不思議な介 護生活のお話	ひとつ屋根の下、彼と彼のお父さんとの3人暮らしの8年間。当初はカミングアウトをせずに年の離れた友人と紹介されて、家に転がり込んだ僕。ある日の夕食時に「二人の関係がホモだったら出て行ってほしい」と言われた修羅場も。月日が流れ、いつしか彼のお父さんの介護のキーパーソンはなぜか僕になっていたのです…
畑野とま と	LGBTQ+	ジェンダーアイ デンティティの お話	テレビでは「心の性」などと説明されることがありますが、心の性をみたことありますか？私は見たことがありません。じゃあ、それはいったい何なのか？といったお話です。
ひらりー	LGBTQ	トランスジェン ダー (M t F) 且つレズビアン というダブルマ イノリティの日 常について	「身体性が男性で、恋愛・性愛の対象が女性」という、傍目からはごく普通の男性にしか見えない、結婚もできるし、子作りもできる私。しかし実生活では、レズビアン・トランスジェンダー（身体性は男性、性自認は女性、恋愛・性愛の対象は女性）といった複数のマイノリティ性を持つ人々の存在が世間ではあまりよく知られていないために、その稀有な生き辛さ感を気軽に相談できる相手がほとんどおらず、一人で思い悩むことも多くあります。そんな私の日常をつづった物語です。
大谷重司 (おおたに じゅうじ)	視覚障がい	ベンチプレス世 界チャンピオン の実態	1. 現役の健常者チャンピオンは眼が見えない64歳の男です。今年の3月の全国大会でも健常者の試合で優勝。 2. いろんな場面で視覚障害者は世間から分離されています。図書館でも点字図書。スポーツをするにも障害者専用のスポーツセンターがあります。その実態に疑問を持ち続けていました。 3. 町内でのスポーツジムへの参加。これだけで喜びは完結していました。 4. 可能性を見つけられたこと。限界を捨てること意識の変化。
小山祐介 (コヤ)	うつ病当事 者	自分を知りたく て歩んでいます ～当事者と支援 者の視点から ～	夢も希望もないまま就職、システムエンジニアとして勤めていた24歳のとき、残業100時間以上の超過労働、常駐先のパワハラが引き金となって鬱を発症しました。10回近く転職、たくさんの人に手を差し伸べてもらってアートやエンタメの活動をしていたところ、実体験を活かした起業の機会をいただくも、挫折。うつ病当事者であり、自立訓練施設職員(支援者)として働いていまだからこそ、気づき、話せることの全て、お話します。
浜田有子 (NEW)	失語症・ 同名半盲	失語症ってなん だろう～ある日 突然に話せな い、読めない、 書けなくなっ たら？～	旅行、料理本などの雑誌編集、フリーライターをしてきて、校了後のある日に脳梗塞で緊急入院、失語症（高次脳機能障害）、同名半盲（半側しか見えない状態の視野欠損）と診断。ひらがな、カタカナも全く読めず、言葉がでない。自分が書いたものも分からない。それからリハビリで言語と書く練習をしながら、小学生の国語を一から学びつつ。そんな過去と約10年たった今の日常をお話します。